

弘前サクラオーバルズ 全国へ



全国大会に挑む弘前サクラオーバルズのメンバー (チーム提供)

女子7人制 ラグビー 光星、三農恵拓高の選手主体

ラグビー女子の青森県選抜チーム「弘前サクラオーバルズ」が、10月25、26日に埼玉県で開かれる7人制ラグビーのU-18(18歳以下)全国大会に初めて出場する。メンバーは、八学光星高、三農恵拓高の選手10人で構成。

U-18全国大会には、東

北選抜のメンバーとして青森県勢の選手も出場したことはあったが、単独チームとして全国の舞台に立つため、2023年から挑戦を続けている。

9月20日に宮城県石巻市で開かれた東北ブロッ

ク予選会は4チームによるリーグ戦で争われ、初戦が宮城クラブ(宮城県)と5-5のドロー。続く岩手県女子戦は17-14で接戦を制した。POSA GE RC福島との最終戦では26-0と大勝し、見事初優勝を勝ち取った。

「初戦に引き分けとなり、チームに嫌な空気が漂ったが、そこから何とか持ち直してくれた」と坂本悟一監督。メンバーは普段、それぞれの学校で男子部員と練習に励んでいるといい、「そこで培った体の強さは大きな武器。全国でもきつと通用するはず」と自信をのぞかせる。

オーバルズとしての練習は週末など、限られた時間で行われており、戸賀澤亜実主将(八学光星高3年)は「メンバーが集まるのも大変で、練習時間も限られたが、大会では自分たちの力を存分に出した」と笑顔。「青森県勢として初の出場となるので、多くのことを吸収しながら、これからにつなげる1勝をつかみ取りたい」と誓った。

(小嶋嘉文)